

□ 機能追加・改善内容

No.	項目	内容
1	NXconciiergeエージェント機能追加	NXconciiergeによるネットワーク機器管理のためのエージェント機能を追加した。
2	スマートワイヤレスマネージャ機能改善	スマートワイヤレスマネージャ機能にて、以下の機能を追加した。 1)設定画面 ・NXconciierge連携に関する設定画面を追加した。 ・認証サーバグループ毎のRADIUSサーバの登録台数を2台から4台に拡張した。 ・MACアドレス認証時に使用する認証パスワードとして任意の文字列を設定可能とした。 2)モニタリング画面 ・切断済端末の情報表示を可能とした。 3)障害診断機能 ・AP診断項目に、NXconciierge連携診断を追加した。 ・端末診断項目に、端末無線通信性能診断(干渉発生による性能低下)を追加した。
3	端末可視化機能	端末可視化機能で使用するベンダ名を解析するためのOUI辞書ファイルを更新した。 本対応により、解析できるベンダ名が増加する効果がある。

□ 修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V20.06 ローミング実行時	本装置に接続された無線端末がローミングした際、約 2 秒間通信できない場合がある。
2	V20.06 ローミング実行時	ProxyARP機能の代理応答によりローミング先に接続した無線LAN端末が切断される場合がある。
3	V20.05 ~ V20.06 動的定義反映実行時	IEEE802.1X認証またはMACアドレス認証を使用する無線端末接続状態にて、動的定義反映を実施するとメモリリークが発生する場合がある。
4	V20.03 ~ V20.06 端末可視化機能利用時	端末可視化機能にて検出した端末情報の表示(show devscan)をした際、ベンダー名・ホスト名またはコンピュータ名の表示情報が文字化けする場合がある。
5	V20.03 ~ V20.06 音声通信利用時	本装置を介して音声通信を行うとSIPプロトコルの接続要求(INVITE)が破棄され、音声端末が鳴動せず通話できない場合がある。
6	V20.05 ~ V20.06 スマートワイヤレスマネージャ利用時	スマートワイヤレスマネージャにて管理画面操作の処理中にブラウザを閉じる等の操作を行うと、次回ログイン時に管理画面からの操作が、以下のようなエラー要因で失敗となり操作できない状態が装置再起動されるまで継続される場合がある。 「別の操作が実行中であるため、本操作を開始できません」 「設定反映に失敗しました」 この事象が発生した場合でも、管理画面右上のメニューバーからログアウト操作を実施後に再ログインすることで正常状態となる。
7	V20.05 ~ V20.06 スマートワイヤレスマネージャ利用時	スマートワイヤレスマネージャの保守情報取得にて、管理APの定期ログ情報の取得失敗時の詳細情報にて要因が誤って"内部異常"と表示される場合がある。
8	V20.05 ~ V20.06 スマートワイヤレスマネージャ利用時	スマートワイヤレスマネージャにて設定反映実行時、管理APへの内部ログイン用パスワードコマンドが誤ったパスワードで配布され、マスタAPが管理APにログインできない状態となる場合がある。